

## 事故0を目指そう!防衛運転とは?

防衛運転は、主に車のドライバーを対象に事故を防ごうとする意識と運転方法によって、自分が原因の事故を起こさない、他者が原因の事故に巻き込まれることを防いだり被害を最小限にすることを言います。

自転車にも「防衛運転」が必要です。実際の自転車に関係する交通事故から、交通事故に遭わないためのポイントは次のとおりです。



### 1. 見通しの悪い交差点では車が隠れている

自転車事故の最も多い事故が、出会い頭の事故であり、見通しの悪い交差点で発生しています。

危険を回避するためには

- 見通しの悪い交差点や、一時停止の標識があるところは確実に止まる
- カーブミラーを過信しないで、左右の道路が見渡せるところで近づく車がないか確認するなどの防衛運転が大切です。



### 2. 左折する車には近づかない

自転車が左折時に巻き込まれる事故が多く発生しています。車の側面には死角があるので、自転車のような小さなものは見落とされがちです。

見ていないドライバーもいます。

危険を回避するためには

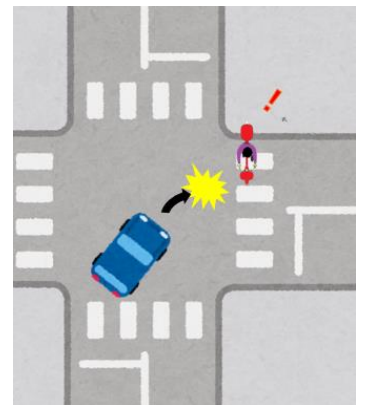
- 交差点通過時は、左折車などを確認する
  - 信号待ちの車の列の左側を無理に進んで前へ出ようとしない
  - 交差点へは車と並走して入らない
- などの防衛運転が大切です。

無理せず、譲り合いゆっくり余裕を持って走ることを意識してみてください。左右、前方、後方確認も忘れずに。

### 3. 対向の右折車に注意

交差点や、道路右側の施設に右折進行しようとした車と対向直進の自転車が衝突する事故が多く発生しています。危険を回避するためには

- 交差点通過時は、特に対向車など交差点内を良く確認する
  - 対向車が交差点に止まっていたら、ウインカーが点いていなくても、「右折するかもしれない」と思い注意するなどの防衛運転が大切です。
- 「かもしれない運転」を心掛け、対向に車がある時は、まずは自分が止まる、徐行する等、防衛運転に努めて下さい。周りを良く見て運転しましょう。



## 謹んで初春のご挨拶を申し上げます

会員の皆様へおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から安全就業にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。新年を迎え皆様方あらたな気持ちで過ごされたのではないのでしょうか。

コロナウィルスも収まらない社会情勢ではございますが、これからも皆様の安全就業を委員会の活動を通し、陰ながらお支えしていけたらと思っております。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。

安全委員長 五十嵐 恭子

## 傷害事故報告

12月の傷害事故は「0」件。

今月も事故0を目指しましょう！

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和2年度	1	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	9
令和3年度	0	0	0	1	1	1	0	1	0	—	—	—	4

## 自転車の通行方法などに関する○×クイズ

Q1 歩道に歩行者がいない場合、自転車は運転者の年齢や道路標識等の有無にかかわらず、歩道を通行できる

A 正解は×

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられていますので、歩道と車道の区別のあるところは、原則として、車道の左側に寄って通行しなければなりません。

ただし、下記の1～5の場合は自転車で歩道を通行することができます。

- 1 道路標識等で指定された場合（都内の歩道の約6割はこれに該当）
- 2 運転者が児童（6歳以上13歳未満）・幼児（6歳未満）の場合
- 3 運転者が70歳以上の高齢者の場合
- 4 運転者が一定程度の身体の障害を有する場合
- 5 車道又は交通の状況からみてやむを得ない場合



1



2、3、4



5